PATENT ABSTRACTS OF JAPAN



(11)Publication number:

07-179043

(43) Date of publication of application: 18.07.1995

(51)Int.CI.

B41M 5/26

B41M 5/30

(21)Application number: 05-328101

(71)Applicant: MITSUBISHI PAPER MILLS LTD

(22)Date of filing:

24.12.1993

(72)Inventor: MARUYAMA ATSUSHI

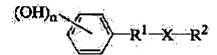
IIDA KAZUYUKI

(54) REVERSIBLE THERMAL RECORDING MATERIAL

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a material capable of forming and erasing an image in good contrast and capable of holding an image stable with the elapse of time by adding a usually colorless or light-colored electron donating dye precursor and an electron acceptive compd. having a specific structure generating a reversible hue change in the dye precursor by heating.

CONSTITUTION: A usually colorless or light-colored electron donating dye precursor and an electron acceptive compd. represented by formula (wherein n is an integer of 1-3, R1 is a 1-18C divalent hydrocarbon group, X is a divalent group having at least one or more of a -CONH-bond excepting an amide bond and a urea bond and R2 is a 1-24C hydrocarbon group) generating a reversible hue change in the dye precursor by heating are added. As a result, a reversible thermal recording material capable of forming and erasing an image in good contrast and capable of holding an image stable with the elapse of time under daily living environment and also stable under a more severe condition can be obtained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

17.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted

registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3113479

[Date of registration]

22.09.2000

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of

rejection

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

DELPHION

ASAIN 0058

Select CR

(Stop Trecking)

Log Oct Work Files Sexed Sexeden My Account

RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

Help

The Delphion Integrated View

Get Now: PDF | More choices...

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwent

Tools: Add to Work File: Create new Work File

View: INPADOC | Jump to: Top

Go to: Derwent

Email this to a friend

Title:

JP07179043A2: REVERSIBLE THERMAL RECORDING MATERIAL

Derwent Title:

Reversible heat-sensitive recording material - comprises substrate and recording layer comprising colourless or high-coloured electron-donating dye precursor and

specific electron accepting cpd. [Derwent Record]

PCountry:

JP Japan

% Kind:

A (See also: JP03113479B2)

PInventor:

MARUYAMA ATSUSHI;

IIDA KAZUYUKI:

PAssignee:

MITSUBISHI PAPER MILLS LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed:

1995-07-18 / 1993-12-24

PApplication Number:

JP1993000328101

PIPC Code:

B41M 5/26; B41M 5/30;

Priority Number:

1993-12-24 JP1993000328101

8 Abstract:

PURPOSE: To obtain a material capable of forming and erasing an image in good contrast and capable of holding an image stable with the elapse of time by adding a usually colorless or light-colored electron donating dye precursor and an electron acceptive compd. having a specific structure generating a reversible hue change in the dye precursor by heating.

CONSTITUTION: A usually colorless or light-colored electron donating dye precursor and an electron acceptive compd. represented by formula (wherein n is an integer of 1-3, R1 is a 1-18C divalent hydrocarbon group, X is a divalent group having at least one or more of a -CONH-bond excepting an amide bond and a urea bond and R2 is a 1-24C hydrocarbon group) generating a reversible hue change in the dye precursor by heating are added. As a result, a reversible thermal recording material capable of forming and erasing an image in good contrast and capable of holding an image stable with the elapse of time under daily living environment and also stable under a more severe condition can be obtained.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

VINPADOC Legal Status: None

Get Now: Family Legal Status Report

Property:

DE FR GB

Family:

Show 17 known family members

Forward References:

Go to Result Set: Forward references (1)

30	to Result Set.	1 Of Ward IC	Nward references (1)				
PDF	Patent	Pub.Date	Inventor	Assignee	Title		
×	<u>US6596669</u>	2003-07-22	Maruyama; Jun		Reversible two-color heat-sensitive recording material and recording method		

POther Abstract Info:

DERABS C95-171632



View

1 page









Nominate this for the Gallery...





Copyright © 1997-2004 The Thomson Corporation

Subscriptions | Web Seminars | Privacy | Terms & Conditions | Site Map | Contact Us | Help

(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-179043

(43)公開日 平成7年(1995)7月18日

(51) Int.Cl.6 識別記号 庁内整理番号 FΙ 技術表示箇所 B 4 1 M 5/26 5/30 B41M 5/18 101 A 108 審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 9 頁) (21)出願番号 特願平5-328101 (71)出願人 000005980 三菱製紙株式会社 (22)出願日 平成5年(1993)12月24日 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号 (72)発明者 丸山 淳 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号三菱 製紙株式会社内 (72)発明者 飯田 和之 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号三菱 製紙株式会社内

(54) 【発明の名称】 可逆性感熱記録材料

(57)【要約】

【目的】 良好なコントラストで画像の形成・消去が可 能で、日常生活の環境下で経時的に安定な画像を保持可 能な可逆性感熱記録材料を提供することである。

【構成】 通常無色ないし淡色の電子供与性染料前駆体 と、加熱により該染料前駆体に可逆的な色調変化を生じ せしめる下記一般式化1で表される電子受容性化合物と を含有する可逆性感熱記録材料。

【化1】

$$(OH)_n$$
 R^1-X-R^2

(式化1中、nは1以上3以下の整数を、R1 は炭素数 1から18の二価の炭化水素基を、Xは-CONH-結 合を少なくとも一つ以上持つ二価の基を表す。但し、単 なるアミド、尿素結合は除く。R2 は炭素数1から24 の炭化水素基を表す。)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 通常無色ないし淡色の電子供与性染料前 駆体と、加熱により該染料前駆体に可逆的な色調変化を 生じせしめる下記一般式化1で表される電子受容性化合 物とを含有する可逆性感熱記録材料。

【化1】

$$(OH)_n$$
 R^1-X-R^2

(式化1中、nは1以上3以下の整数を、R¹ は炭素数 10 1から18の二価の炭化水素基を、Xは-CONH-結 合を少なくとも一つ以上持つ二価の基を表す。但し、単 なるアミド、尿素結合は除く。R2 は炭素数1から24 の炭化水素基を表す。)

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、加熱により画像形成及 び消去が可能な可逆性感熱記録材料に関するものであ

[0002]

【従来の技術】感熱記録材料は一般に支持体上に電子供 与性の通常無色ないし淡色の染料前駆体と電子受容性の 顕色剤とを主成分とする感熱記録層を設けたものであ り、熱ヘッド、熱ペン、レーザー光等で加熱することに より、染料前駆体と顕色剤とが瞬時反応し記録画像が得 られるもので、特公昭43-4160号、特公昭45-14039号公報等に開示されている。

【0003】一般にこのような感熱記録材料は、一度画 像を形成するとその部分を消去して再び画像形成前の状 態に戻すことは不可能であるため、さらに情報を記録す る場合には画像が未形成の部分に追記するしかなかっ た。このため感熱記録部分の面積が限られている場合に は、記録可能な情報が制限され必要な情報を全て記録で きないという問題が生じていた。

【0004】近年、この様な問題に対処するため画像形 成・画像消去が繰り返して可能な可逆性感熱記録材料が 考案されており、例えば、特開昭54-119377号 公報、特開昭63-39377号公報、特開昭63-4 1186号公報では、樹脂母材とこの樹脂母材中に分散 された有機低分子から構成された感熱記録材料が記載さ れている。しかしこの方法は、熱エネルギーによって感 熱記録材料の透明度を可逆的に変化させる物であるた め、画像形成部と画像未形成部のコントラストが不十分 である。

【0005】また、特開昭50-81157号公報、特 開昭50-105555号公報に記載された方法におい ては、形成する画像は環境温度に従って変化するもので あるため、画像形成状態と消去状態を保持する温度が異 なっており、常温下ではこの2つの状態を任意の期間保 持することが出来ない。

【0006】さらに、特開昭59-120492号公報 には、呈色成分のヒステリシス特性を利用し、記録材料 をヒステリシス温度域に保つことにより画像形成状態・ 消去状態を維持する方法が記載されているが、この方法 では画像形成及び消去に加熱源と冷却源が必要な上、画 像の形成状態及び消去状態を保持できる温度領域がヒス テリシス温度領域内に限られる欠点を有しており、日常 生活の温度環境で使用するには未だ不十分である。

2

【0007】一方、特開平2-188293号公報、特 開平2-188294号公報、国際公開番号WO90/ 11898号には、ロイコ染料と加熱によりロイコ染料 を発色及び消色させる顕滅色剤から構成される可逆性感 熱記録媒体が記載されている。顕減色剤は、ロイコ染料 を発色させる酸性基と、発色したロイコ染料を消色させ る塩基性基を有する両性化合物で、熱エネルギーの制御 により酸性基による発色作用または塩基性基による消色 作用の一方を優先的に発生させ、発色と消色を行うもの である。しかしこの方法では、熱エネルギーの制御のみ で完全に発色反応と消色反応を切り換えることは不可能 で、両反応がある割合で同時に起こるため、十分な発色 濃度が得られず、また、消色が完全には行えない。その ために十分な画像のコントラストが得られない。また、 塩基性基の消色作用は常温で発色部にも作用するため、 経時的に発色部の濃度が低下する現象が避けられない。 更に、特開平5-124360号公報には加熱によりロ イコ染料を発色及び消色させる可逆性感熱記録媒体が記 載されており、電子受容性化合物として有機リン酸化合 物、α-ヒドロキシ脂肪族カルボン酸、脂肪酸ジカルボ ン酸及び炭素数12以上の脂肪族基を有するアルキルチ オフェノール、アルキルオキシフェノール、アルキルカ ルバモイルフェノール、没食子酸アルキルエステルなど の特定のフェノール化合物が例示されている。しかし、 この記録媒体でもやはり発色濃度が低い、または、消色 が不完全というふたつの問題を同時に解決することはで きないし、その画像の経時安定性においても実用上満足 すべきものはない。この画像の経時安定性を改善すべ く、以前我々は特願平5-256825号明細書である 特定の電子受容性化合物を見出し、日常生活の環境下で 経時的に安定な画像を保持できるまでに至った。しかし ながら、この電子受容性化合物をもってしても、更に過 酷な条件下においてはその画像の経時的安定性は満足す べきものではなかった。

【0008】このように、従来の技術では良好な画像コ ントラストを持ち、画像の形成・消去が可能で、日常生 活の環境下で経時的に安定な、更にはそれよりも過酷な 条件下においても安定な画像を保持可能な実用的可逆性 感熱記録材料は知られていなかった。

[00009]

【発明が解決しようとする課題】本発明の課題は、良好 50 なコントラストで画像の形成・消去が可能で、日常生活

の環境下で経時的に安定な、更にはそれよりも過酷な条件下においても安定な画像を保持可能な、かつ消去温度幅が広く実用上満足できる可逆性感熱記録材料を提供することである。

[0010]

【課題を解決するための手段】本発明者らは、この課題を解決するため研究を行った結果、通常無色ないし淡色の電子供与性染料前駆体に加熱により可逆的な色調変化、すなわち、発色及び消色を生じせしめる下記一般式化2で表される電子受容性化合物が存在することを見い 10 出し、本発明を完成するに至った。

[0011]

[化2]

$$(OH)_n$$
 R^1 R^2

【0012】(式化2中、nは1以上3以下の整数を、 R^{I} は炭素数1から18の二価の炭化水素基を、Xは一CONH-結合を少なくとも一つ以上持つ二価の基を表す。但し、単なるアミド、尿素結合は除く。 R^{2} は炭素数1から24の炭化水素基を表す。)

【0013】化2で表される化合物の中、R1は炭素数 1から18の二価の炭化水素基を表すが、好ましくは炭 素数1から12の二価の炭化水素基である。R2 は炭素 数1から24の炭化水素基を表すが、好ましくは炭素数 6から22の炭化水素基である。更に、R1とR2との炭 素数の和が11以上35以下である場合が特に好まし い。R1及びR2は具体的には主として、各々アルキレン 基及びアルキル基を表すが、それぞれその基中に芳香環 を含んでもよく、特にR1 の場合は芳香環のみでもよ い。一方、式化2中のXは-CONH-結合を少なくと も一つ以上持つ二価の基を表わすが、その具体例として は、ウレタン(-NHCOO-、-OCONH-)、ジ アシルアミン (-CONHCO-)、ジアシルヒドラジ ン (-CONHNHCO-)、しゅう酸ジアミド (-N HCOCONH-)、アシル尿素 (-CONHCONH -、-NHCONHCO-)、セミカルパジド(-NH CONHNH-、-NHNHCONH-)、アシルセミ カルパジド (-CONHNHCONH-、-NHCON HNHCO-)、ジアシルアミノメタン(-CONHC $H_2NHCO-)$, 1-P> ν P><math>1-D ν + γ + γ タン (-CONHCH2NHCONH-、-NHCON HCH2 NHCO-)、マロンアミド (-NHCOCH 2 CONH-) 等の基が挙げられる。アミド (-CON H-、-NHCO-)、尿素(-NHCONH-)は、 これに含まれない。

【0014】本発明に用いる、通常無色ないし淡色の電子供与性染料前駆体に可逆的な色調変化を生じせしめる電子受容性化合物の具体例としては、下記に挙げるものなどがあるが、本発明はこれに限定されるものではな

-63

【0015】N-[2-(p-ヒドロキシフェニル)エ チル] カルパミン酸-n-オクタデシル、N-[6-(p-ヒドロキシフェニル) ヘキシル] カルバミン酸n-テトラデシル、N-[p-(p-ヒドロキシフェニ ル)フェニル]カルパミン酸-n-ドデシル、N-n-オクタデシルカルパミン酸- [2-(p-ヒドロキシフ ェニル) エチル]、N-n-デシルカルバミン酸-[1 1-(p-ヒドロキシフェニル)ウンデカニル]、Nn-テトラデシルカルパミン酸- [p-(p-ヒドロキ シフェニル) フェニル]、N-[3-(p-ヒドロキシ フェニル)プロピオニル] -N-n-オクタデカノイル アミン、N-[6-(p-ヒドロキシフェニル) ヘキサ ノイル] -N-n-オクタデカノイルアミン、N-[3 - (p-ヒドロキシフェニル) プロピオニル] -N-(p-n-オクチルベンゾイル) アミン、N-[2-(p-ヒドロキシフェニル) アセト] -N´-n-ドデ カノヒドラジド、N-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] -N´-n-オクタデカノヒドラジド、N - [3-(p-ヒドロキシフェニル) プロピオノ]-N ´-n-オクタデカノヒドラジド、N-[3-(3, 4) ージヒドロキシフェニル) プロピオノ] -N´-n-オ クタデカノヒドラジド、N-[2-(p-ヒドロキシフ ェニル) アセト] - N ´ - n - ドコサノヒドラジド、N - [3-(p-ヒドロキシフェニル)プロピオノ]-N ´-n-ドコサノヒドラジド、N-[3-(3,4-ジ ヒドロキシフェニル) プロピオノ] - N´-n-ドコサ ノヒドラジド、N- [6- (p-ヒドロキシフェニル) ヘキサノ] - N ´ - n - テトラデカノヒドラジド、N -[6-(p-ヒドロキシフェニル) ヘキサノ] -N´n-オクタデカノヒドラジド、N-[6-(p-ヒドロ キシフェニル) ヘキサノ] -N´- (p-n-オクチル ベンゾ) ヒドラジド、N-[11-(p-ヒドロキシフ ェニル) ウンデカノーN´ーnーデカノヒドラジド、N [11-(p-ヒドロキシフェニル)ウンデカノーN ´ーn-テトラデカノヒドラジド、N-[11-(p-ヒドロキシフェニル) ウンデカノーN ー n ー オクタデ カノヒドラジド、N-[11-(p-ヒドロキシフェニ ル) ウンデカノ-N⁻-(6-フェニル) ヘキサノヒド ラジド、N-[11-(3, 4, 5-トリヒドロキシフ ェニル) ウンデカノ] -N -n-オクタデカノヒドラ ジド、N-[p-(p-ヒドロキシフェニル) ベンゾ] -N´-n-オクタデカノヒドラジド、N-[p-(p -ヒドロキシフェニルメチル) ベンゾ] -N´-n-オ クタデカノヒドラジド、N-[2-(p-ヒドロキシフ ェニル) エチル] - N ´ - n - テトラデシルオキサミ ド、N-[3-(p-ヒドロキシフェニル) プロピル] -N´-n-オクタデシルオキサミド、N-[3-(3, 4-ジヒドロキシフェニル)プロピル]-N´-

n-オクタデシルオキサミド、N-[11-(p-ヒド

50

ロキシフェニル) ウンデカニル] - N - n - デシルオ キサミド、N-[p-(p-ヒドロキシフェニル)フェ ニル] -N´-n-オクタデシルオキサミド、N-[2 - (p-ヒドロキシフェニル) アセチル] - N´-n-ドデシル尿素、N-[2-(p-ヒドロキシフェニル) アセチル] - N ´ - n - オクタデシル尿素、N - [3 -(p-ヒドロキシフェニル) プロピオニル] -N´-n -オクタデシル尿素、N-[p-(p-ヒドロキシフェ ニル) ベンゾイル] - N ´-n-オクタデシル尿素、N $-[2-(p-E)^{2}-10] - [2-(p-E)^{2}-10] - [2-(p-E)^{2}-10]$ n-ドデカノイル尿素、N-[2-(p-ヒドロキシフ ェニル) エチル] - N ~- n - オクタデカノイル尿素、 N-[p-(p-ヒドロキシフェニル)フェニル]-N ´ーnーオクタデカノイル尿素、4-[2-(pーヒド ロキシフェニル) エチル] -1-n-テトラデシルセミ カルパジド、4-[2-(p-ヒドロキシフェニル)エ チル] -1-n-オクタデシルセミカルバジド、4-[p-(p-ヒドロキシフェニル)フェニル]-1-n ーテトラデシルセミカルパジド、1-[2-(p-ヒド ロキシフェニル) エチル] -4-n-テトラデシルセミ カルパジド、1-[2-(p-ヒドロキシフェニル) エ チル] -4-n-オクタデシルセミカルパジド、1-[p-(p-ヒドロキシフェニル)フェニル]-4-n ーテトラデシルセミカルパジド、1-[2-(p-ヒド ロキシフェニル) アセチル] -4-n-テトラデシルセ ミカルパジド、1-[3-(p-ヒドロキシフェニル) プロピオニル] -4-n-オクタデシルセミカルバジ ド、1-[11-(p-ヒドロキシフェニル) ウンデカ ノイル] -4-n-デシルセミカルパジド、1-[p-(p-ヒドロキシフェニル) ベンゾイル] -4-n-オ 30 クタデシルセミカルパジド、4-[2-(p-ヒドロキ シフェニル) エチル] -1-n-テトラデカノイルセミ カルパジド、4-[2-(p-ヒドロキシフェニル)エ チル] -1-n-オクタデデカノイルセミカルパジド、 4-[p-(p-ヒドロキシフェニル)フェニル]-1 - n - オクタデカノイルセミカルバジド、1 - [2-(p-ヒドロキシフェニル) アセトアミド] -1-n-ドデカノイルアミノメタン、1-[2-(p-ヒドロキ シフェニル) アセトアミド] -1-n-オクタデカノイ ルアミノメタン、1-[3-(p-ヒドロキシフェニ ル) プロパンアミド] -1-n-オクタデカノイルアミ ノメタン、1-[11-(p-ヒドロキシフェニル)ウ ンデカンアミド] -1-n-デカノイルアミノメタン、 1- [p-(p-ヒドロキシフェニル) ベンズアミド] -1-n-オクタデカノイルアミノメタン、1-[2-(p-ヒドロキシフェニル) アセトアミド] -1-(3 -n-ドデシルウレイド) メタン、1-[2-(p-ヒ ドロキシフェニル) アセトアミド] -1-(3-n-オ クタデシルウレイド) メタン、1-[3-(p-ヒドロ キシフェニル) プロパンアミド] -1-(3-n-オク 50

6

タデシルウレイド)メタン、 $1-[11-(p-ヒドロキシフェニル)ウンデカンアミド]-1-(3-n-デシルウレイド)メタン、<math>1-[p-(p-ヒドロキシフェニル)ベンズアミド]-1-(3-n-オクタデシルウレイド)メタン、<math>1-\{3-[2-(p-ヒドロキシフェニル)エチル] ウレイド\}-1-n-オクタデカノイルアミノメタン、<math>1-\{3-[p-(p-ヒドロキシフェニル) フェニル] ウレイド\}-1-n-オクタデカノイルアミノメタン、<math>N-[2-(p-ヒドロキシフェニル) エチル]-N´-n-オクタデシルマロンアミド、<math>N-[p-(p-ヒドロキシフェニル) エチル]-N´-n-オクタデシルマロンアミド等が挙げられる。$

【0016】本発明による電子受容性化合物はそれぞれ 1種または2種以上を混合して使用してもよく、通常無 色ないし淡色の染料前駆体に対する本発明による電子受 容性化合物の使用量は、5~5000重量%、好ましく は10~3000重量%である。

【0017】本発明に用いられる通常無色ないし淡色の 電子供与性染料前駆体としては一般に感圧記録紙や感熱 記録紙等に用いられるものに代表されるが、特に制限されるものではない。具体的な例としては、例えば下記に 挙げるものなどがあるが、本発明はこれに限定されるものではない。

【0018】(1)トリアリールメタン系化合物 3, 3-ピス (p-ジメチルアミノフェニル) -6-ジ メチルアミノフタリド(クリスタルバイオレットラクト ン)、3,3-ビス(p-ジメチルアミノフェニル)フ タリド、3-(p-ジメチルアミノフェニル)-3-(1, 2-ジメチルインドール-3-イル) フタリド、 3-(p-ジメチルアミノフェニル)-3-(2-メチ ルインドールー3-イル)フタリド、3-(p-ジメチ ルアミノフェニル) -3-(2-フェニルインドールー 3-イル) フタリド、3, 3-ピス(1, 2-ジメチル インドールー3ーイル) -5-ジメチルアミノフタリ ド、3,3-ビス(1,2-ジメチルインドール-3-イル) -6-ジメチルアミノフタリド、3,3-ビス (9-エチルカルバゾール-3-イル) -5-ジメチル アミノフタリド、3,3-ピス(2-フェニルインドー ルー3-イル) -5-ジメチルアミノフタリド、3-p ージメチルアミノフェニルー3-(1-メチルピロール -2-イル) -6-ジメチルアミノフタリド等、

【0019】 (2) ジフェニルメタン系化合物 4, 4' - ピス (ジメチルアミノフェニル) ベンズヒド リルベンジルエーテル、N-クロロフェニルロイコオー ラミン、N-2, 4, 5-トリクロロフェニルロイコオーラミン等、

【0020】(3) キサンテン系化合物 ローダミンBアニリノラクタム、ローダミンB-p-ク ロロアニリノラクタム、3-ジエチルアミノ-7-ジベ

7

ンジルアミノフルオラン、3-ジエチルアミノ-7-オクチルアミノフルオラン、3-ジエチルアミノ-7-フェニルフルオラン、3-ジエチルアミノ-7-クロロフルオラン、3-ジエチルアミノ-6-クロロ-7-メチルフルオラン、3-ジエチルアミノ-7-(3,4-ジクロロアニリノ)フルオラン、3-ジエチルアミノ-7-(2-クロロアニリノ)フルオラン、

【0021】3-ジェチルアミノ-6-メチル-7-ア ニリノフルオラン、3-(N-エチル) トリルアミノー6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-ピペリジノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-ピペリジノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-(N-x+1) トリルアミノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-ジズチルアミノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-ジブチルアミノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-(N-メチル) プロピルアミノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-(N-エチル) イソアミルアミノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン、3-(N-エチル) テトラヒドロフリルアミノ-6-メチル-7-アニリノフルオラン等、

【0022】(4) チアジン系化合物 ベンゾイルロイコメチレンブルー、p-ニトロベンゾイ ルロイコメチレンブルー等、

【0023】(5)スピロ系化合物

3-メチルスピロジナフトピラン、3-エチルスピロジナフトピラン、3, 3'-ジクロロスピロジナフトピラン、3-ベンジルスピロジナフトピラン、3-メチルナフトー(3-メトキシベンゾ)スピロピラン、3-プロピルスピロベンゾピラン等。

【0024】前記通常無色ないし淡色の染料前駆体はそれぞれ1種または2種以上を混合して使用してもよい。

【0025】次に本発明の可逆性感熱記録材料の具体的 製造方法について述べるが、本発明はこれに限定される ものではない。

【0026】本発明の可逆性感熱記録材料の製造方法の 具体例としては、通常無色ないし淡色の染料前駆体と本 発明による電子受容性化合物を主成分とし、これらを支 持体上に塗布或いは印刷して可逆性感熱記録層を形成す る方法が挙げられる。

【0027】通常無色ないし淡色の染料前駅体と、本発明による電子受容性化合物を可逆性感熱記録層に含有させる方法としては、各々の化合物を単独で溶媒に溶解もしくは分散媒に分散してから溶媒に溶解もしくは分散媒に分散する方法、各々の化合物を混ぜ合わせてから溶媒に溶解もしくは分散媒に分散する方法、各々の化合物を加熱溶解し均一化した後冷却し、溶媒に溶解もしくは分散媒に分散する方法等が挙げられるが特定されるものではない。

【0028】また、可逆性感熱記録層の強度を向上する 等の目的でパインダーを可逆性感熱記録層中に添加する 事も可能である。パインダーの具体例としては、デンプン類、ヒドロキシエチルセルロース、メチルセルロース、カルポキシメチルセルロース、ゼラチン、カゼイン、ポリビニルアルコール、変性ポリビニルアルコール、ポリアクリル酸ソーダ、アクリル酸アミド/アクリル酸エステル/メタクリル酸3元共重合体、スチレン/無水マレイン酸共重合体のアルカリ塩、エチレン/無水マレイン酸共重合体のアルカリ塩、エチレン/無水マレイン酸共重合体のアルカリ塩、エチレン/無水マレイン酸共重合体のアルカリ塩等の水溶性高分子、ポリ酢酸ビニル、ポリウレタン、ポリアクリル酸エステル、スチレン/ブタジエン共重合体、アクリロニトリル/ブタジエン共重合体、アクリル酸メチル/ブタジエン共重合体、エチレン/酢酸ビニル共重合体等のラテックスなどがあげられるが、これらに限定されるものではない。

8

【0029】また、可逆性感熱記録層の発色感度及び消 色温度を調節するための添加剤として、熱可融性物質を 可逆性感熱記録層中に含有させることができる。60℃ ~200℃の融点を有するものが好ましく、特に80℃ ~180℃の融点を有するものが好ましい。一般の感熱 記録紙に用いられている増感剤を使用することもでき る。例えば、N-ヒドロキシメチルステアリン酸アミ ド、ステアリン酸アミド、パルミチン酸アミドなどのワ ックス類、2-ベンジルオキシナフタレン等のナフトー ル誘導体、p-ベンジルピフェニル、4-アリルオキシ ピフェニル等のピフェニル誘導体、1,2-ピス(3-メチルフェノキシ) エタン、2, 2′-ピス (4-メト キシフェノキシ) ジエチルエーテル、ピス (4-メトキ シフェニル)エーテル等のポリエーテル化合物、炭酸ジ フェニル、シュウ酸ジベンジル、シュウ酸ピス(p-メ 30 チルベンジル) エステル等の炭酸またはシュウ酸ジエス テル誘導体等を併用して添加することができる。

【0030】本発明の可逆性感熱記録材料に用いられる 支持体としては、紙、各種不織布、織布、合成樹脂フィ ルム、合成樹脂ラミネート紙、合成紙、金属箔、ガラス 等、あるいはこれらを組み合わせた複合シートを目的に 応じて任意に用いることができし、更に、透明、半透明 或いは不透明にいずれであっても良い。また、これらに 限定されるものでもない。

【0031】本発明の可逆性感熱記録材料の層構成は、可逆性感熱記録層のみであっても良い。必要に応じて、可逆性感熱記録層上に保護層を設けることも又、可逆性感熱記録層と支持体の間に中間層を設けることもできる。この場合、保護層および/または中間層は2層ないしは3層以上の複数の層から構成されていてもよい。更に可逆性感熱記録層中および/または他の層および/または可逆性感熱記録層が設けられている面および/または反対側の面に、電気的、磁気的、光学的に情報が記録可能な材料を含んでも良い。また、可逆性感熱記録層が設けられている面と反対側の面にカール防止、帯電防止を目的としてバックコート層を設けることもできる。

50

【0032】可逆性感熱記録層は、各発色成分を微粉砕して得られる各々の分散液を混合し、支持体上に塗布、印刷して乾燥する方法、各発色成分を溶媒に溶解して得られる各々の溶液を混合し、支持体上に塗布、印刷して乾燥する方法などにより得ることができる。この場合、例えば、各発色成分を一層ずつに含有させ、多層構造としてもよい。

【0033】また、可逆性感熱記録層及び/または保護層及び/または中間層には、ケイソウ土、タルク、カオリン、焼成カオリン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、酸化チタン、酸化亜鉛、酸化ケイ素、水酸化アルミニウム、尿素-ホルマリン樹脂等の顔料、その他に、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム等の高級脂肪酸金属塩、パラフィン、酸化パラフィン、ポリエチレン、酸化ポリエチレン、ステアリン酸アミド、カスターワックス等のワックス類を、また、ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム等の分散剤、さらに界面活性剤、蛍光染料などを含有させることもできる。

[0034]

【作用】本発明による電子受容性化合物は、ロイコ染料を発色させる能力を持つにも拘らず、特異的に消色効果すなわち可逆効果も持ち合わせている。このことは全く予期しないことであり、通常の感熱記録材料に用いている電子受容性化合物、即ち、2,2-ピス(4-ヒドロキシフェニル)プロパン、ピス(4-ヒドロキシフェニル)スルホン、4-ヒドロキシ安息香酸ベンジル等ではこのような可逆効果は全く見られない。

【0035】本発明の感熱記録材料の画像形成及び消去原理は未だ明確ではないが、以下の様に考えられる。通常無色ないし淡色の染料前駆体は、フェノール性化合物のような電子受容性化合物と共に加熱すると染料前駆体から電子受容性化合物への電子移動が起こり発色する。この時、電子受容性化合物分子は発色した染料分子の極めて近傍に存在していると考えられる。また、発色した染料分子から電子受容性化合物分子を引き離すと、発色した染料分子は再び電子を受け取り、発色前の染料前駆体の状態となる。本発明は加熱により、電子受容性化合物分子と染料分子との距離を変化させ発色及び消色を行うものと考えられる。

【0036】さらに詳しく述べるならば、本発明による電子受容性化合物は、その構造の中に大きな脂肪鎖を持つため、染料前駆体分子および発色した染料分子との相溶性が低く、凝固した状態では互いに殆ど溶け合わないと考えられる。また、加熱溶融状態の様に染料前駆体分子と本発明による電子受容性化合物分子が自由に運動できる状態では、染料前駆体分子と本発明による電子受容性化合物分子は互いにある割合で溶け合い、発色状態となる。それ故、発色している溶融状態の混合物をゆっくり冷却すると、降温するに従い本発明による電子受容性化合物と染料分子は互いに溶け合わなくなって相分離

し、消色する。この時、本発明による電子受容性化合物 は分子内に、アミド結合等の水素結合能力を持つ結合を 含有しているため、分子間水素結合により速やかに結晶 化してしまう。一方、急速に冷却を行うと、相分離する 前、即ち発色状態のままで固化するため、発色状態が固

定され固化後も発色状態が安定に保持される。

10

【0037】以上のように、本発明による可逆性感熱記録材料は、染料分子と本発明による電子受容性化合物との相溶状態および相分離状態を作りだし、発色および消色状態を発現させるものと考えられる。発色を行うには、加熱に引き続き急速な冷却が起これば良く、例えばサーマルヘッド、レーザー光等による加熱により可能である。また、加熱後ゆっくり冷却すれば消色し、例えば熱ロール、熱スタンプ、サーマルヘッド、高周波加熱、熱風、電熱ヒーター或いはハロゲンランプ等の光源からの輻射熱等を用いることにより行える。

【0038】次に、化2で表される電子受容性化合物の 具体的合成例の代表例を以下に示す。中間体として用い られるω-ヒドロキシフェニルカルボン酸は、例えば、 J. Am. Chem. Soc., 69, 3018, (1947) などに記載されてい

【0039】合成例1

る方法によって合成することができる。

N-[2-(p-ヒドロキシフェニル)アセト]-N´-n-オクタデカノヒドラジドの合成。 機件機を付けた100mlのフラスコ内に、p-ヒドロキシフェニルアセトヒドラジド3.3g、トリエチルアミン2.1g、ジメチルアセトアミド30mlを仕込み、加温溶解した。これに室温下、オクタデカノイルクロリド5.7gを滴下し、同温で1時間機件した。反応固形物を一度加温溶解したのち、希塩酸水溶液100ml、氷30gに投入し、析出した結晶を濾取した。この結晶を順に熱ベンゼン、熱i-プロバノールで洗浄し、目的物7.3gを得た。融点201℃。

【0040】合成例2

N-[3-(p-ヒドロキシフェニル)プロピオノ]-N⁻-n-オクタデカノヒドラジドの合成。機枠機を付けた100mlのフラスコ内に、p-ヒドロキシフェニルプロピオノヒドラジド3.6g、トリエチルアミン2.1g、ジメチルアセトアミド30mlを仕込み、加温溶解した。これに室温下、オクタデカノイルクロリド5.7gを滴下し、同温で1時間攪拌した。反応固形物を一度加温溶解したのち、希塩酸水溶液100ml、氷30gに投入し、析出した結晶を違取した。i-プロパノールより再結晶を行い、目的物7.3gを得た。融点171℃。

【0041】合成例3

N-[5-(p-ヒドロキシフェニル) バレリル]-N -n-ドコサノヒドラジドの合成。機枠機を付けた1 00mlのフラスコ内に、p-ヒドロキシフェニルプロ パレリックヒドラジド2.1g、トリエチルアミン1.

50

1g、ジメチルアセトアミド20mlを仕込み、加温溶 解した。これに室温下、別途、ペヘン酸3.4gとオキ サリルクロリド1.9gから合成した酸クロリドを滴下 し、同温で1時間攪拌した。反応固形物を一度加温溶解 したのち、希塩酸水溶液50m1、氷15gに投入し、 析出した結晶を濾取した。i-プロパノールより再結晶 を行い、目的物 4.4 g を得た。融点 146℃。

【0042】合成例4

1- (p-ヒドロキシフェニル) アセトアミド-1-n ーオクタデカノイルアミノメタンの合成。攪拌機、冷却 10 器を付けた200mlのフラスコ内に、p-ヒドロキシ フェニルアセトアミド13.2g、N-ヒドロキシメチ ルーn-オクタデカンアミド20.0g、濃塩酸5滴及 びテトラヒドロフラン140mlを仕込み、60℃で5 時間加熱攪拌した。反応液を室温まで冷却後、300m 1の蒸留水に投入し、析出した結晶を濾取した。 i -プ ロパノールより再結晶を行い、目的物18.6gを得 た。融点176℃。

【0043】合成例5

-n-オクタデシルオキサミドの合成。提拌機を付けた 100mlのフラスコ内に、チラミン塩酸塩5.2g、 アセトニトリル40m1を仕込み、氷冷下トリエチルア ミン7.6gを加えた。次いで、クロログリオキシル酸 エチル4. 1gを30分間かけて滴下し、その後同温に て1時間攪拌した。反応液を希塩酸水溶液100ml、 **氷15gに投入し、酢酸エチルで2回抽出し、これを合** わせ順に希塩酸水溶液、蒸留水、飽和食塩水で洗浄し た。無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去し 得られた油状物をエタノール300mlに溶解し、オク 30 タデシルアミン8。2gを加え30分間加熱還流した。 反応液を室温まで冷却後、析出した結晶を濾取し、目的 物8.8gを得た。融点167℃。

[0044]

【実施例】以下実施例によって本発明を更に詳しく説明

【0045】 実施例1

(A) 可逆性感熱塗液の作成

染料前駆体である3-ジ-n-プチルアミノ-6-メチ ルー7-アニリノフルオラン40部を2.5%ポリビニ 40 ルアルコール水溶液90部と共にボールミルで24時間 粉砕し、染料前駆体分散液を得た。次いでN-[2-(p-ヒドロキシフェニル) アセト] -N´-n-オク タデカノヒドラジド100部を2.5%ポリピニルアル コール水溶液400部と共にポールミルで24時間粉砕 し分散液を得た。上記2種の分散液を混合した後、10 %ポリピニルアルコール水溶液200部、水400部を 添加、よく混合し、可逆性感熱塗液を作成した。

【0046】(B)可逆性感熱記録材料の作成

タレート(PET)シートに、固形分塗抹量4g/m² となる様に塗抹し、乾燥後、スーパーカレンダーで処理 して可逆性感熱記録材料を得た。

12

【0047】 実施例2

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N´-n-オクタデカノヒドラジドのか わりに、N-[3-(p-ヒドロキシフェニル) プロピ オノ] - N ´- n - ドコサノヒドラジドを使用した他 は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を得た。

【0048】 実施例3

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N ´ - n - オクタデカノヒドラジドのか わりに、N-[5-(p-ヒドロキシフェニル) パレリ ル】-N´-n-ドコサノヒドラジドを使用した他は、 実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を得た。

【0049】 実施例4

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] -N´-n-オクタデカノヒドラジドのか わりに、1- (p-ヒドロキシフェニル) アセトアミド -1-n-オクタデカノイルアミノメタンを使用した他 は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を得た。

【0050】実施例5

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] -N´-n-オクタデカノヒドラジドのか わりに、N-[2-(p-ヒドロキシフェニル) エチ ル] - N´-n-オクタデシルオキサミドを使用した他 は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を得た。

【0051】実施例6

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] -N´-n-オクタデカノヒドラジドのか わりに、N-[3-(p-ヒドロキシフェニル) プロピ オニル] -N´-n-オクタデシル尿素を使用した他 は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を得た。

【0052】実施例7

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N - n - オクタデカノヒドラジドのか わりに、4-[2-(p-ヒドロキシフェニル) エチ ル] -1-n-オクタデカノイルセミカルバジドを使用 した他は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を 得た。

【0053】実施例8

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N - - n - オクタデカノヒドラジドのか わりに、1-[3-(p-ヒドロキシフェニル)プロピ オニル] -4-n-オクタデシルセミカルバジドを使用 した他は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を 得た。

【0054】実施例9

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ (A) で調製した可逆性感熱塗液をポリエチレンテレフ 50 ル) アセト] $-N^--n-オクタデカノヒドラジドのか$

わりに、N-n-オクタデシルカルパミン酸- [2-(p-ヒドロキシフェニル) エチル] を使用した他は、 実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料を得た。

【0055】実施例10

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N´ - n - オクタデカノヒドラジドのか わりに、1-[2-(p-ヒドロキシフェニル) アセト アミド] -1-n-テトラデカノイルアミノメタンを使 用した他は、実施例1と同様にして可逆性感熱記録材料 を得た。

【0056】実施例11

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N ´-n-オクタデカノヒドラジドのか わりに、1-[3-(p-ヒドロキシフェニル)プロパ ンアミド] -1- (N´-n-オクタデシルウレイド) メタンを使用した他は、実施例1と同様にして可逆性感 熱記録材料を得た。

【0057】比較例1

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] $-N^{-1}-n-オクタデカノヒドラジドのか 20 A: 画像残存率 (%)$ わりに、没食子酸とステアリルアミンとの塩を使用した 他は、実施例1と同様にした。

【0058】比較例2

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] - N´-n-オクタデカノヒドラジドのか わりに、2, 2-ピス (p-ヒドロキシフェニル) プロ パンを使用した他は、実施例1と同様にした。

【0059】比較例3

実施例1で用いたN-[2-(p-ヒドロキシフェニ ル) アセト] $-N^{-}n-オクタデカノヒドラジドのか 30$ わりに、p-(n-オクタデシルチオ)フェノールを使 用した他は、実施例1と同様にした。

【0060】試験1(発色濃度=熱応答性)

実施例1~11および比較例1~3で得た感熱記録材料 を、京セラ製印字ヘッドKJT-256-8MGF1付 き大倉電気製感熱ファクシミリ印字試験機TH-PMD を用いて印加パルス1. 1ミリ秒で印加電圧26ポルト の条件で印字し、得られた発色画像の濃度を濃度計マク ペスRD918を用いて測定した。結果を表1に示し

14

【0061】試験2 (発色濃度の経時変化=画像安定

10 実施例1~11および比較例1~3で得た感熱記録材料 を、京セラ製印字ヘッドKJT-256-8MGF1付 き大倉電気製感熱ファクシミリ印字試験機TH-PMD を用いて、印加パルス1.1ミリ秒で印加電圧26ボル トの条件で印字し、温度60℃、相対温度30%の雰囲 気下に14時間保存した後、試験1と同様にして、発色 部の濃度を測定し、下記数1により画像残存率を計算し た。結果を表1に示した。

[0062]

【数1】A=(C/B)×100

B:試験前の画像濃度

C:試験後の画像濃度

【0063】試験3 (画像の消去性)

実施例1~11および比較例1~3で得た感熱記録材料 を、京セラ製印字ヘッドKJT-256-8MGF1付 き大倉電気製感熱ファクシミリ印字試験機TH-PMD を用いて印加パルス1. 1ミリ秒で印加電圧26ポルト の条件で印字し、得られた発色画像部に熱スタンプを用 いて120℃で1秒間加熱した後、試験1と同様にして 濃度を測定した。結果を表1に示した。

[0064]

【表 1 】

	試験 1 発色部の濃度	試験2	試験3 消去部の復度	コントラスト
実施例 1	1.22	92%	0.07	0
実施例2	1.31	99%	0.08	0
実施例3	1.42	99%	0.06	0
実施例4	1.20	90%	0.08	0
実施例5	1.14	91%	0.06	0
実施例 6	1.14	80%	0.16	0
実施例 7	1.28	90%	0.06	0
実施例8	1.21	91%	0.07	0
実施例 9	1. 17	80%	0.16	0
実施例10	1.24	85%	0.16	0
実施例11	1.27	92%	0.06	0
比較例1	0.47	41%	0.23	Δ
比較例2	1.37	96%	1.28	×
比較例3	0.68	31%	0.26	Δ

【0065】表1中、○は消去部の濃度が発色部の濃度の30%未満で発色部と消去部のコントラストが良好、 △は消去部の濃度が発色部の濃度の30%以上80%未 満でコントラストが不十分、×は消去部の濃度が発色部 の濃度の80%以上で可逆性が認められないことを表 す。

[0066]

【発明の効果】表1に示したように、通常無色ないし淡 30 た。

色の電子供与性染料前駆体と、加熱により該染料前駆体に可逆的な色調変化を生じせしめる前記一般式化1で表される電子受容性化合物とを含有する可逆性感熱記録材料により、良好なコントラストで画像の形成・消去が可能で、日常生活の環境下で経時的に安定な、更にはそれよりも過酷な条件下においても安定な画像を保持可能な画像を保持可能な可逆性感熱記録材料を得ることができ

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

				.,			
(F)	FÄDED	TEXT OR	DRAW	ING	•		

☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

BLURRED	OR ILI	LEGIBLE	TEXT	OR DR	AWING

1 1	SKEW	FD/CI	ANTED	TMA	CRC
_	OTFICE AA		THE PLANE	TTAYCE.	CUC

	COLOR							
	~~- ~-							
	,,,,,,,	AD	DIACU	A BIT	**/*******	DHAT	α	nnc
_	4 . 1 <i>1</i> 1 . 1 . 1 K	1 1 100 .	MI ALK	4	VV PI I I II.	PHILL	1 H - K A	\mathbf{r}

	GRAY	SCALE	DOCUM	/ENTS
_	OIG I	OCALL	DOCUM	

	LINES	OR MA	RKS ON	ORIGINA	L DOCUN	MENT
_		OXC XIII	CACALD OIL	OMORA		A LTCOTAL

u	REFERENCE(S) OR EXHIB	IT(S)	SUBMITTED	ARE POOR	QUALITY
---	-----------------------	-------	-----------	----------	---------

		OT	H	FI	٧.
1	_	\mathbf{v}		c.	٧.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.